

未来を築くユース会議 2018～社会を読み解き 未来を創る！メディア・リテラシーを磨こう！～

第3回 人と世界の多様性と共通の未来

- **日 時**：2018年9月29日（土） 10時35分～16時31分
- **場 所**：あいち国際プラザアイリスルーム
- **参加者**：6人
- **ファシリテーター**：伊沢令子（NIED・国際理解教育センター）、**記録**：川合眞二（同左）
- **全体（全4回）のねらい**
 - ① 他者、社会、世界を理解するための「情報」は、どう集め、どう読み解くことが必要かをふりかえる。
 - ② 地域社会と地球社会を俯瞰し、情報を多角的に読み解き、社会の現状と課題を確認し共有する。
 - ③ 地域と世界をつなぐグローバルな視点でよりよい未来のビジョンを描き、実現に必要なことを見出す。
- **第3回のねらい**
 - ◇ 人と世界の多様性を理解し、多様性を受け入れるとはどういうことかを考える。
 - ◇ 異なる価値観を持つ人々の間で起きる衝突と、異なる価値観を持つ人々との共生について考える。
 - ◇ SDGs（持続可能な世界の共通ゴール）を理解し、人類共通のよりよい未来のビジョンを描く。

● プログラム

1. はじめに 10:35-[17]
2. 第2回の振り返りと第3回のねらいの確認 10:52-[21]
3. 人も世界も多様 11:13-[17]
4. 多様な中の共通性 11:30-[45]
お昼休憩 12:15-[62]
5. 多様性を認める≠多様性を受け入れる・賛成する 13:17-[16]
6. 多様性を認める≠なんでもあり「ちがいのちがいが」 13:33-[38]
7. 多様性を認める社会 VS 排他的な社会 14:11-[20]
小休憩 14:31-[16]
8. 価値観は多様&価値観は変わる「答えのない問題」 14:47-[38]
9. 持続可能な共通の未来のビジョン 15:25-[58]
10. 全体ふりかえり 16:23-[8]

● 記 録

[] : 所要時間

■ 1. はじめに 10:35 - [17]

- 冒頭あいさつ...主催者からあいさつを行った。
- 参加者が集まらない理由出し...アイスブレーキング代わりにブレインストーミングでユース会議に人が集まらない理由を3分間で出し合い、書記役の人が用紙に書き留めた。

◇ 高校3年生に取っては受験があるので、時期的に春（2～3月）が一番よい。
◇ テーマが難しいと思う。→どんなテーマがよい？
「昨年度の対立解決」「内容はよいがタイトルが堅い」「流行を探ってみる！」
◇ 何に役に立つかわかりやすく広報するとよい。
◇ 学校にチラシを置いてもらっても、個々人まで情報（チラシ）が行き渡っていないのではないかと。
◇ 飽きやすい人にとっては、5時間という時間は長い。 ◇ 今回は文化祭と被っていた。

■ 2. 第2回の振り返りと第3回のねらいの確認 10:52 - [21]

- ファシリテーターからのコメント...第3回のテーマを始めるにあたり、板書を基に、第3回のテーマに関する次の情報を伝えた。

多様性とは「幅広く性質の異なる群が存在すること。＝ただ「みんないろいろだね」じゃなく、共通点のある人たちが集まって群れを成して、その群れがたくさんある感じのことを指す。
→多様性を壊すのは容易く創り出すのは難しい



- 第3回のねらいの確認...レジュメを基に、第3回のねらいについて説明した。
- 第2回の振り返り...各自第2回の記録を読み、印象に残ったところ3つに下線を引いた。その後、全体でそのうち1つを発表・共有した。

■ 3. 人も世界も多様 11:13 - [17]

- 「地球家族」の写真選び...世界30カ国の家族と家財道具一式を家の外に出して撮影した「地球家族」の写真から「好き」または「気になる」1枚を選んだ。
- 一言自己紹介&選んだ理由の紹介...グループ内で、「生まれ変わるとしたらどこの国か？」と自分が写真を選んだ理由を伝え合った。
- 自分の多様性紹介...グループ内で、自分が多くの人たちと比べ、ちょっとココがちがう（特出したところや変わったところ）を紹介し合った。
- 私たちの多様性見つけ...グループメンバーで「異なるところ」を探して、用紙に書き出し、全体で発表・共有した。



4. 多様な中の共通性 11:30-[45]

- **グループ替えと一言自己紹介**…グループ替えを行い、「1週間で最もリピート率が高い食べ物」を紹介しあった。
- **「地球の食卓」写真の分類**…世界30カ国の家族と1週間の食事材料をキッチンに並べて撮影した「地球の食卓」の写真7枚を見て、カテゴライズした。

◇A グループ…主食で分類「コメ／パン／イモ」
◇B グループ…自給自足的／食料が豊かで主食が
パン／ジャンクフードだらけ



- 「地球の食卓」の視点分析…グループで話し合い、7枚の写真の中から、①最もヘルシーだと思う写真、②持続可能ではないと思う写真、をそれぞれ選んで理由を発表しあった。
- 「地球の食卓」の共通点探し…グループ内で7枚の写真の共通点を探し、「世界は〇〇だ!」というキャッチフレーズを付けて、全体で発表した。

◇ 世界はじゃがいもでいっぱいだ！ ◇ 世界は子ども中心で、食べ物で笑顔だ！

- 多様な中の共通性の一般化…各自「あー、人ってどんなに多様であっても、ココは同じなんだなと思うことやもの3つ」を用紙に書き出し、グループ内で紹介し合った。

★ お昼休み 12:15—[62]

5. 多様性を認める≠多様性を受け入れる・賛成する 13:17- [16]

- **自分が認めている多様性の紹介**…各自、自分とは違うけど認めていること＝認めている多様性を考え、発表・共有した。

◇ レモンをかける・かけない ◇ お菓子やジュースが好き ◇ ジェンダー ◇ L G B T
◇ ファッションタトゥ ◇ 授業中寝る人 ◇ 音楽 ◇ 最終学歴

- **ファシリテーターからのコメント**…「認める」＝「受け入れる」と思い込んでいる人が多い。見ず知らずの人に対して人格攻撃をする人が大嫌いです。でもそういう人っているのは認めています。とはいっても、嫌いだから受け入れる気はないし、関わりたくもありません。わたしはナスが嫌いです。でも、「ナスが好き」「ナスが大好き」「ナスアレルギー」みたいに、「ナス」に対していろんな考えがあることを知っています。多様性を認めるっていうのは、「自分が所属するグループ以外のグループもある」って理解することであって、ナスが嫌いなのにナス好きの人を受け入れて、自分もナスを食べるということではない。

6. 多様性を認める≠なんでもあり「ちがいのちがい」 13:33- [38]

- **ちがいカードの仕分け**…18 枚のカードに書かれている「ちがい」について、グループ内で話し合って「違っていてもいい」「違っては危険」「どちらが微妙・わからない（グレー）」に仕分けした。

- **グレーカードの再仕分け**…グレーのカードが多くなっているため、条件を設定して改めて話し合っただけ仕分けした。
- **ゲームのねらいの説明**…「違っていてもいいちがいはいい」それぞれ仕分けした基準、特徴を考え、一般化した表現でまとめ、全体で発表した。



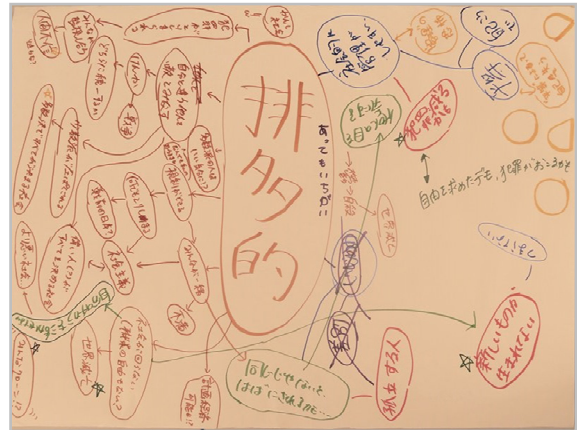
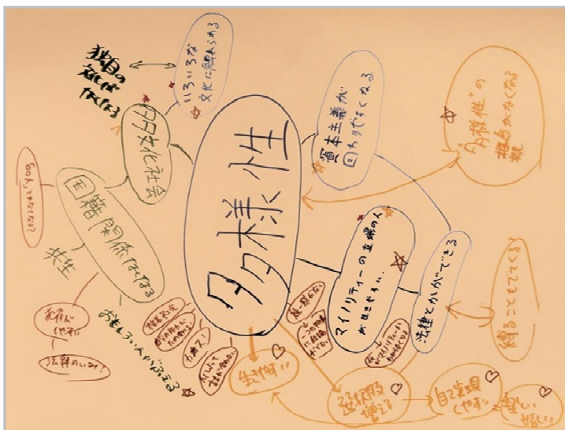
◇ あっていいちがいに ◇ 宗教 ◇ 進路
◇ 個人の好み (公共の福祉に反しないもの)
◇ 国による法律や文化

＜あっては危険なちがひ＞ ◇ 差別（性、障害者、ジェンダー） ◇ 貧富・医療の格差 ◇ 少数排除

- **ファシリテーターからのコメント**…「みんな違ってみんないい」という金子みすずさんの詩が有名だけれど、あってもよい違いとあると危険な違いがある。

7. 多様性を認める社会 VS 排他的な社会 14:11 – [20]

- **ファシリテーターからのコメント**…多様性を認めるということは、「自分とちがう人もいる」と理解することです。その反対にあるのは、「自分とちがう人は排除する」という排他的な考えです。
- **2つの社会の影響の派生的検討**…1つのグループが「多様性を認める社会」、もう1つのグループが「排他的な社会」を担当し、それぞれの社会ではどんなことが起きてくるか、その影響を派生的に考え、模造紙に書き出した。さらに、時間を追加して、メリット、デメリットの観点で付け加えてみた。
- **双方の社会の検討結果の共有**…模造紙を回し読みして、「なるほど!」と思ったアイデアに☆印付けた。さらに追加したいアイデアがあったら、違う色のマジックを使って書き加えた。



ファシリテーターからのコメント…多様性を認めるということは、「自分とちがう人もいる」と理解することです。その反対にあるのは、「自分とちがう人は排除する」という排他的な考えです。つまり、認めてはいても受け入れない。でも排除しない。それはひとつの「多様性」です。逆にいえば、「排除したがる人がいるのも多様性だ」という言い分は通りません。それは多様性とは真逆の考えだからです。「多様性を認める」って言うても、なにしてもいいわけじゃないです。排他的であるという多様性を認めてしまえば、多様性は損なわれます。だから認められません。

8. 価値観は多様&価値観は変わる「答えのない問題」 14:47- [38]

- 道徳どう解く?…『答えのない道徳のも第どう解く?』の書籍から次の3つの問いに、自分ならどう答えるか今の考えをまとめて用紙に書いた。

- ① たべもの、どう解く?「食べていい動物と、食べちゃいけない動物の違いってなんだろう?」
- ② びょうどう、どう解く?「人数が多いほうが、正しいってどうして言えるんだろう?」
- ③ ともだち、どう解く?「ネット上の友だちと学校の友だち、どっちが本当の友だちって言えるんだろう?」



- 解答の共有と合意点探し…①～③を分担して、ペアごとにそれぞれ自分の考えを伝え合った。次に書籍に記載されている「他の人」の考えを記した資料を読み、最後に、ペアの2人が最低限共感できる場所を話し合い探し、今日導き出せた「問い」に対する合意点を全体で発表・共有した。
- ファシリテーターからのコメント…自分とは異なる考え=間違い?多数派=正解?絶対的に正しい価値観はない。自分の価値観も変わる可能性がある。自分も生きやすく社会のためにもなるようなもの「答えのない問題」を探究していくこと、それを共有していくことが道徳だと考える。

9. 持続可能な共通の未来のビジョン 15:25- [58]

- 個人のビジョンカードづくり…課題がなくなるという消極的な未来ではなく、誰もが「こんな社会だったらいい!」という共通の未来のビジョン(状態)を考え、1項目1枚の付せん紙に7項目以上書き出した。
- カードの分類・整理…書き出した付せん紙をカード式整理法で分類・整理した。その後、7箇条にとりまとめて、模造紙に書き上げた。
- 他のグループのアイデア共有…2つの模造紙を回し読みして、アイデアを全体で共有した。



「持続可能な共通の未来のビジョン」7カ条

1. 少数派も人も幸せになれる
2. 実害を受けずに暮らせる
3. 各々の価値観を否定しない
4. 「自分」という個性を持てる
5. 持続可能な環境を保てる
6. 幸福で文化的な最低限度な生活が保障される
7. どんな人も多様性を認められる

1. 人々が生き生きしている
2. みんなに必要な衣食住が与えられている
3. みんなが応援してくれる
4. 働くことができる環境
5. みんなが学べる
6. 環境を保護し、自然と共存
7. 外国を身近に感じる

「持続可能な共通の未来のビジョン」のカード式整理法模造紙



10. 全体ふりかえり 16:23— [8]

- 他チームのビジョンの良い！と今日一日の感想の共有…最後の活動で感じた相手チームの良いと思ったところ、今日一日の感想を全体で発表した。

- ◇ 「人々が生き生きしている」という基本的なことが書いてあるところがよかった。来週バスケット部の公式戦があり来られなくて残念。中学校で同様の活動をしたことがあるが、みんなのやる気がなくて全く意味がないものだった。それに比べて意見が活発で多様な意見に触れられて、参加して本当に良かった。
- ◇ 「みんなが応援してくれる」第2回の秋葉原事件でもみんなが応援してくれれば違った展開になったのではないかと。政権や宗教などについて話し合ったり、道徳どう解く？という活動は、物事をバランス良く考えるうえでとても役立つと思った。
- ◇ 多文化の現実社会の中で「価値観を否定しない社会」が良かったと思った。学校でやるような活動もあったが、学校外で学校外の人と話せることが新鮮だった。ここでの経験のおかげで会社の志望理由もスラスラ書くことができた。

★16:31 終了 お疲れ様でした！！